

## 株式会社ミライロへの出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゆんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、持続可能な環境・社会の実現に向けた優先課題の一つとして掲げる「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン<sup>[1]</sup>（以下 DEI）」の推進におけるパートナーシップ構築を主たる目的として、株式会社ミライロ（以下 ミライロ）に出資しました。

ミライロは、障がいのある当事者の視点を活かし、ユニバーサルデザインやDEIに関するトータルソリューションを提供するフロントランナーであり、「障がい（バリア）を価値（バリュー）に変えるバリアバリュー」を理念とするスタートアップ企業です。

MUFGおよび当行では、多様な人材が相互に刺激しあうことで生まれるアイデアや行動変容は、新たな価値の創出や企業カルチャーを変革させる原動力であると捉えており、DEI推進を人的資本経営およびサステナブルな社会の実現に向けた重要な経営戦略の一つとして位置付けています。これまでも、当行では、障がい者の方が活躍しやすい職場環境の整備や特例子会社である三菱UFJビジネス・パートナー株式会社と協働して、法定雇用率を上回る規模での障がい者雇用を継続してきましたが、デジタル化に伴う銀行業務の変化や障がい者雇用に関する法改正など、我々および社会を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

本出資を通じて、MUFGおよび当行における障がい者雇用のさらなる推進や雇用の質の向上に取り組むのみならず、MUFGの有する金融サービスや顧客基盤と、ミライロIDをはじめミライロの持つ様々なソリューション・知見等との融合をはかり、当行のお客さま、さらには社会全体への新たなサービスや価値の提供に取り組みます。

MUFGおよび当行は「世界が進むチカラになる。」のパーパス（存在意義）の下、グループ一体で多様な人材が活躍できる共生社会の実現に貢献してまいります。

## 【ミライロの概要】

|      |   |
|------|---|
| 名称   | 株式会社ミライロ（代表取締役社長 垣内 俊哉）   |
| 設立   | 2010年6月   |
| URL  | <a href="https://www.mirairo.co.jp/">https://www.mirairo.co.jp/</a> |
| 所在地  | 大阪市淀川区西中島3-8-15 EPO SHINOSAKA BUILDING 8F                           |
| 事業内容 | 法人や自治体に向けたユニバーサルデザインに関するソリューション提供<br>デジタル障がい者手帳「ミライロID」の開発・運営       |

[1] すべての人に同じものを与える「平等（equality）」ではなく、違いに応じた支援を行う「公平・公正（equity）」を勘案した概念。